

プログラムの特徴

持続可能な未来を創る、知識と思考力を学ぶ！

ファーウェイでは、持続可能な未来を創る若い世代の人材を育成するため、2008年から大学生を対象とした「未来の種 (Seeds for the Future)」プログラムを中国・深圳 (シンセン) で開催してきました。こうした活動をもとに、ファーウェイ・ジャパンでは2022年度から株式会社JTBと共同で中高生向けIT教育プログラム「Touch Our Technology!」を進めています。

2021年度からの学習指導要領改訂に伴い、言語能力と同様に学習の基盤となる資質・能力として「情報活用能力の育成」が求められるようになるなど、これからの未来を生きる子どもたちにとって、情報通信やテクノロジーの知識と、新たな技術や情報と正しく向き合う能力は欠かせないものになってきています。こうした背景も踏まえ当プログラムでは、全国各地の学校へ各分野の専門家が訪問して出張授業を開催。講演とグループワークを通じてテクノロジーや情報通信に関する知識を学び、実践的な思考力も養いながら、アイデアコンテストでさらに学びを探究していきます。

授業の流れ (当日のスケジュール)

2コマ1セットとして授業を提供いたします。

※下記スケジュールは1コマ45分授業のケースを想定。

1コマ目 (計45分)	趣旨説明・アイスブレイク (10分)	講師による講演 (20分)	ファーウェイによる講演 (15分)
学習の位置づけ	事例問題の提示	情報の収集	
授業形態		講師による授業	ファーウェイ社員による授業
授業内容	■テクノロジーを学ぶ大切さを知る アイスブレイク「情報」の授業や、「プログラミング」を学ぶ大切さを、アイスブレイクを通じて伝えていきます。 授業の目的を明確化することで、学びの効果の最大化を目指します。	■変革する未来を知る 講師の方が関わるプロジェクトのご紹介を通じて、「テクノロジーがどのように社会の役に立つか」「テクノロジーの活用が私たちの生活にもたらす良い影響」について学んでいきます。	■事例を知る 「情報通信技術とは?」といった基礎知識の説明から、ファーウェイが世界で取り組む様々な事例についてご紹介いたします。

2コマ目 (計45分)	グループワーク (25分)	発表・質疑応答・講評 (20分)	
学習の位置づけ	整理・分析	まとめ・表現	
授業形態	JTB ファシリテーターによる進行	代表生徒による発表	ファーウェイ社員及び講師との対話
授業内容	■テクノロジーの活用方法を考える 4～6名1組のグループに分かれて、社会課題を解決する為のアイデアを考える。 例) 難易度は2段階ご用意しております ●希少生物を保護するアイデアを考えよう ●大雨で河川が氾濫する地域を救うアイデアを考えよう ●部活動を強くしよう	■考えをまとめて伝える グループごとに考えたアイデアを発表して頂きます。発表を聞いているグループは、発表しているグループに対するフィードバックを記入いたします。	■更なる学習意欲を喚起する 発表内容全体に対して、フィードバックを行うと共に、質疑応答などを通じて、本日の学びの締めくくりを行います。

アイデアコンテストのご紹介

全国の中高生を対象に、さまざまなIT技術を活用して社会課題の解決策を考える「課題解決型コンテスト」を実施いたします。自分たちが暮らす街の社会課題に向き合い、それぞれの問題をテクノロジーで解決するアイデアを募集。地域に関わるあらゆるステークホルダーの力も借りながら、子どもたちが地域の持続可能な自分たちの未来を創造することを期待しています。

決勝大会まで通過した生徒には、終了証 (サーティフィケート) が授与され、優勝チームは深圳 (シンセン) のファーウェイグローバル本社へのご招待を予定しております。

■ コンテストテーマ『あなたの街の未来を想像しよう。』 ※左記想定

■ 課題テクノロジーを活用して、地域を良くするアイデアを考えてください。

※より詳細の情報は、8月頃に公式WEBサイトにて発表を予定しております。





感動のそばに、いつも。

未来の種プロジェクト



Touch Our Technology!

テクノロジーが生み出す、私たちの未来図を創造しよう。



技術や情報が驚くべき速さでアップデートされ、空気のようにネットが空間に存在する現代。これからの未来を生きる子どもたちにとって、情報通信やテクノロジーの知識は欠かせないものになってきています。この未来を創造する最先端のテクノロジーを「ワクワク」しながら学んでほしい」という私たちの思いからプログラムはスタートしました。

ICTを活用したテクノロジーがどのように社会に役に立つのか、WEBや新聞、テレビでは分からない生の情報を通じて、ここでしか得られない気づきを引き出します。

Touch Our Technologyで
学べる・できること!

学びの4つのポイント

01. 最先端の授業が受けられる!

大学の先生やテクノロジー分野の実業家など、IT領域の第一線で活躍する専門家が講師を担当。最先端の情報に触れることで生徒の視野は広がり、多様なキャリアを考えるきっかけにもつながります。

02. テクノロジー活用を学べる!

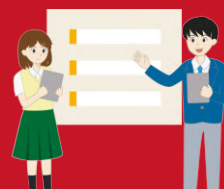
最新の情報や知識とともに、社会においてテクノロジーはどのように活用されているのかを学ぶことができます。具体的な事例も知ること、新しい知識を学ぶことの意義、モチベーションが得られます。

03. グループワークで思考する!

「目的を達成するために、プロセスを分解し、どの順番で、どのように組み合わせれば効率的なのか」をグループワークで思考。あらゆる課題を解決するための普遍性のある論理的思考能力を養います。

04. さらに学びを探究する!

生徒自身が暮らす街の社会課題に向き合う「課題解決型コンテスト」を開催。授業で学んだことを実践し、さらに学びを探究します。

コンテスト
出場!

プログラム概要

日々の学び

課外活動

45分~50分
×2コマの授業

情報の授業

総合的な探究の時間

👑
コンテスト

専門家の講師が学校を訪問し、授業を行います。学校ごとの日々の学びと、「情報の授業」や「総合的な探究の時間」を掛け合わせることで知識を深め、より効果的な授業となることを目指します。

※詳細は裏面をご覧ください

社会課題の解決に挑む、コンテストを実施いたします。

※詳細は裏面をご覧ください

基本要件

受講対象:

全国の高校1~2年生または、中高一貫校の中学3年生を想定。
※学校様のご要望により、上記対象学年の限りではございません。

勉強時間:

45~50分×2コマの連続する授業として実施
※学校様のご要望により、授業時間の変更も可能です。

実施目的:

- ・テクノロジーや情報通信に対する、生徒の興味関心を喚起して、明日の学びに向かう意欲に繋げること。
- ・生徒の課外活動を支援することで、多様なキャリアの可能性を広げること。